

自治会報

さがみはら

No.85

2025年(令和7年)11月発行
発行部数 17万部

発行責任者 相模原市自治会連合会 会長 大木 恵

題字 相模原市長 本村賢太郎

事務局 〒252-0236 相模原市中央区富士見6-6-23 けやき会館内 相模原市自治会連合会 TEL.042-753-3419

つくりだそう自治の力で明るいまちを

相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数 22
自治会数 578
加入世帯数 152,378
班(組)数 10,266
R 7. 4. 1 現在

ホームページ

<https://www.sagamihara-jichiren.jp/>

相模原市自治会連合会 検索



この度2025年度の相模原市自治会連合会の会長になりました。

現在市内には578の単位自治会があります。各自治会は少しでも地域をよくしたいとの思いで活動しています。少子高齢化や自治会加入促進の難しさを抱えながら、地域の「まちづくり」に寄与しています。

さて、単位自治会が長年にわたり継続してきている、人と人とのつながりを大切にしてお互いに支え合うという「まちづくり」は言い換えれば「住民自治」そのものでもあります。

また、このような活動は自治会員のみならず、非会員にとってもプラスになる活動でもあるということを知ってもらうことが重要だと思っています。

人と人が連携し支え合うという地道な努力は、時として大きな力を発揮するものだと信じながら、自治会活動を続けている単位自治会の力になれるよう協力して参りたいと思っています。

皆さま、どうぞよろしくお願いいたします。

相模原市自治会連合会 会長 大木 恵

理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	監事	監事	会計	副会長	副会長	副会長	会長
関戸	伊藤	田倉	林	浅田	田村	森久保	鈴木	代田	丹波	山口	吉田	小林	森田	竹田	入谷	佐藤	篠塚	宮野	割柏	大木
仁(津久井)	裕(麻溝)	信義(橋本)	和博(城山)	久聡(相武台)	高司(東林)	弘信(相模湖)	泰信(中央)	修田(名)	晴道(清新)	信郎(大野北)	貴亮(横山)	充明(上溝)	逸雄(大野中)	幹夫(星が丘)	利郎(小沢)	金男(大磯)	真司(新磯)	実希子(相模台)	善三郎(藤野)	秀規(光が丘)
																				恵(大野南)

※氏名太字は令和7年度役員

私たちが令和7年度相模原市自治会連合会役員・理事です。各地区の自治会連合会から選出されました。

自治会員応援店

自治パス

つかえます

自治会員専用割引

新規応援店の紹介! (令和6年10月~令和7年8月に加入)



自治パス
提示で
うれしい
特典!

- 【住まい】 株式会社三凌商事 相模原支社
原田美装株式会社
相模原市シルバー人材センター(刃物研ぎ)
(緑事務所・中央事務所・南事務所)
- 【販売】 サガミ堂
- 【美容】 sunniesmilennail
- 【相談】 アン・オノメア株式会社
司法書士さがみはら法務事務所
- 【アミューズメント】 おふろの王様町田店
- 【その他】 FELTY PHOTO BOOTH

※相模原インドアテニススクールの特典は終了となりました



自治会員応援店約250店!
自治会員応援店を探そう→



応援店になってみませんか?
お申込み→



相模原

5大観光行事



Five Major Festival
in SAGAMIHARA

上溝夏祭り

【開催日】2025年7月26日(土)
【会場】JR相模線
上溝駅周辺(てくてと通り、
【動員数】350,000人

上溝夏祭りは江戸時代末期に
その起源として、現在まで続く
県北最大級の夏祭りとしても名
50選」にも選ばれ
ています。

本年は、中央区
誕生15周年を祝う
行事として盛大に開
催されました。暑さ
をものともせず、大
人神輿・子ども神
輿16基や、山車8
台が会場内を所狭し
と練り歩く姿が多く
の来場者を魅了し、
パレードや演芸ス
テージといった趣向
を凝らしたイベント
が祭りに華を添え
ました。



相模の大風まつり

【開催日】2025年5月4日(日・祝)・5日(月・祝)
【会場】相模川新磯地区河川敷 【動員数】178,000人

相模の大風揚げは、新磯地域に伝わる地域を代表する風俗
慣習で、もとは5月の節句の際に男児誕生を祝って行われたもの
ですが、現在は個人的なものから地域的なものへと変わってきて
います。

この風揚げは、古くは天保年間(1830～44年)から行われ
ていたと伝えられています。

地域のまつりとして、新磯地域の戸、上磯部、下磯部、勝坂
の大風保存会が中心となり、大風が製作され、風の大きさは、
最も大きいものは新戸地区の風が8間(14.5メートル)四方です。

毎年5月4日、5日に相模川沿いの4会場にて大風まつりを
開催し、大風の魅力の普及や製作技術の継承が行われています。



橋本七夕まつり

【開催日】2025年8月1日(金)～3日(日) 【会場】橋本七夕通り他 【動員数】590,000人

今年は緑区誕生15周年を記念して、地域住民、子どもたちの郷土愛やふるさと意識の向上の一環と
して伝統ある橋本七夕まつりを開催しました。橋本地域の一大イベント開催に向け、実行委員会・地域
商店街・公民館・自治会等多くの皆様方が盛大なまつりの準備を進めて来ました。

一日目の8月1日は開催直前の午後4時頃天気が不安定になり、一部プログラム変更等がありました。
その後予定通り行い「愛と笑顔の七夕まつり」をテーマに掲げ、8月1～3日間開催し、ステージカー
にて地域の方が笑顔で発表していました。

また諸団体による盆踊り・アリオでのeスポーツ・ラップバトル(TMB)・消防団ラッパ隊・自衛隊
音楽隊演奏等、諸団体のご協力があり3日間の七夕まつりが一層盛り上がりしました。

多くの皆様方に来場して頂き有難うございました。

さがみ湖湖上祭花火大会

【開催日】2025年8月1日(金)
【会場】県立相模湖公園
【動員数】45,000人

第73回を迎えた「さがみ湖湖上祭花火大会」
は、湖に親近して亡くなられた方々の慰霊と湖
の安全を願うため、1948年に始まった歴史
ある花火大会です。

相模湖の豊かな自然の中で、夜空を豪華に
彩るスターマインや関東ではなかなか見ること
ができない迫力の超大玉(尺五寸)など今回
は約4,000発が打ち上げられました。

周囲が山に囲まれているので音が身体に響
き、光が湖面に映え、素晴らしい音と光のコ
ラボレーションが織り成す魅力ある花火大会
です。



相模原納涼花火大会

【開催日】2025年9月6日(土)
【会場】相模川高田橋上流
【動員数】59,000人

74年前の1951年に相模田名の復興を願って行われた
田名煙火大会が前身で、毎年旧盆で開催されるようにな
り、1971年から相模原市が主催者となって第1回大会が
行われています。

県内ではあつぎ鮎まつり大花火大会、よこすか開港祭
開国花火大会、と並ぶ県北最大級の花火大会です。

今年で52回目となり地域に浸透していて、打ち上げ場所
と観覧場所が近く、迫力ある花火を楽しむことができます。

自治会連合会も運営の一翼を担い手伝いを続けてい
ます。

今年は中央区誕生15周年記念としても開催された特別
な年となりました。

地域トピックス【藤野】

大久和囃子について

大久和囃子連は、1970年に囃子太鼓が大久和自治会の寄付によって発足しました。地域の方の紹介により下岩囃子保存会の代表であった植松氏に毎月数回、指導を受け、お囃子が出来るようになりました。

毎年7月に開催されていた大久和八坂神社祭典にお囃子が加わり、老若男女問わず大勢の方がお囃子や祭典に参加するようになりました。この盛況ぶりにより、自治会住民の寄付で山車が導入され、祭典も3日間となり、日中はお囃子が演舞する山車の巡行、夜間は舞台でお囃子演舞を行い更に盛り上がりました。

発足から55年が過ぎ、後継者不足は否めませんが、

大久和地域のみならず、周辺の子もたちにも声をかけ、楽しくお囃子を行っています。数年前より祭典は1日開催になりましたが、今年も地元はもとより、大久和出身者の帰省や、周辺地域の方の参加もあり、盛況でした。

このお囃子という、伝統文化ならびに郷土芸能を守り、将来に繋げていきます。

(大久和囃子連 代表 志村 孝夫)



地域トピックス【星が丘】

災害用井戸を

自治会員減少対策を皆で考えている最中にコロナ禍がやってきました。

夏祭り等全てが中止となり、熟慮の結果、2022年から、参加して楽しい防災訓練を実施し防災意識の向上と会員同士のふれあいの場にしようとして現在も続けています。

2024年元日に能登半島地震が発生し、生活用水不足が大きく報道されました。

以前より災害用井戸には関心がありましたが、近所にはありません。

何とかしなければとの思いで各方面に相談の結果、

2025年度から市で補助金の対象になるとの連絡を受け、早速、申請等の手続を進めております。自治会館敷地内に災害用井戸があれば近所の安心感は増大し、会員の脱退防止に寄与するものと思っております。

また、通常時には、子ども達の水遊び場になり、「いざ」の時は、子どもが水を出してくれる場所が市内各所にあることを期待しています。

(千代田7丁目自治会長 坂本 洋三)



地域トピックス【相武台】

自治会初！

はしご付き消防車による救助訓練

相武台グリーンパーク自治会連合会では、管理組合防災委員会と合同で、年3回の防災訓練を行っています。9月28日には相模原市南消防署相武台分署の協力を得て、初めて「はしご付き消防車による救助訓練」を実施しました。40棟1,616世帯からなる大規模集合住宅の特徴を生かし、「中高層階で火災発生、最上階(5階)階段踊り場からの救助」を想定し、バスケットに乗車して地上と5階を往復しました。およそ5分の運転は実際より速度を抑えているとのことでしたが、体感的に

は高層ビルのエレベーター並みの速さで、見慣れた場所が非日常空間となる貴重な経験となりました。こうした実動の救助訓練は自治会としても極めて画期的な試みであり、防災への関心を高める大きな契機となりました。

築46年の建物と共に住民の高齢化も進んでいます。まずは火を出さないことを基本に、火災報知機の点検など防火・防災意識を高められるよう今後も訓練を企画してまいります。

(相武台グリーンパーク自治会連合会防災部)



ご案内とお願ひ 「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

お問い合わせ

相模原市自治会連合会事務局

☎ 042-753-3419 E-mail: info@sagamihara-jichiren.jp

自治会報さがみはら編集
広報部会員

部会長 篠塚実希子(相模台)
副部会長 代田 修(田名)
部会員 南 雄二(光が丘)

副部会長 佐藤 金男(大沢)
副部会長 大木 恵(大野南)
部会員 柿沼 秀康(大野北)

副部会長 関戸 仁(津久井)
部会員 松田 豊(橋本)
部会員 細谷 剛(大野中)

副部会長 入谷 利郎(小山)
部会員 竹上 豊二(相模湖)
部会員 中澤 昇(新磯)

副部会長 丹波 晴道(清新)
部会員 立山 均(星が丘)
部会員 奥野 智(相武台)